

# 私立大学研究ブランディング事業

## 平成 30 年度の進捗状況

学校法人番号	361001	学校法人名	四国大学		
大学名	四国大学				
事業名	「阿波藍」の新たな価値創造を目指した文化的・科学的研究及びその魅力発信・人材育成拠点の構築				
申請タイプ	タイプ A	支援期間	5 年	収容定員	2394 人
参画組織	新あわ学研究所、人間生活科学研究所、藍の家、地域教育・連携センター 機器センター、全学共通教育センター				
事業概要	地方の活性化、特に地域産業の興隆に対する大学への期待は大きい。本事業では、地元自治体・産業界とも連携する中で本学の教育研究資産を活かし、徳島の歴史的産業資源である「阿波藍」に関する歴史的・文化的な体系化及び本格的な科学的分析研究による機能性表示食品の創生と大学オリジナルの染色藍（SU Blue）の創出を行うとともに、その魅力の世界へ向けた情報発信・人材育成の基盤を構築し、研究・地域貢献型大学としてのブランド向上を目指す。				
①事業目的	かつて藍染は、本学の所在する徳島県の伝統文化・産業の中心として重要な役割を担っていた。近年、再び藍は Japan Blue と称され深く鮮やかな色合いを持つ天然染料として再認識されているが、古くから伝承されている藍の持つ機能性にも注目が寄せられている。 そこで、未解読の古文書等の文献調査による藍文化の体系化や藍染技法の研究、新たな産業の創出を目指した藍の機能性に関する科学的研究をとおして、藍の持つ多様な魅力の情報発信及び人材育成の基盤を構築し、研究・地域貢献型大学としてのブランド向上を目指す。				
②30 年度の実施目標及び実施計画	【目標】 「藍の家」「機器センター」の施設改修設計を行う。 染色藍、食用藍の本格的な研究を行う。 【計画】 「藍の家」の改修、古文書・染色・食べる藍に関する調査・研究を実施する。 広報用の資料を準備する。				
③30 年度の事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「藍の家」改修</li> <li>・藍に関する古文書解読作業開始</li> <li>・「阿波藍農工作之風景略図」（絵巻）の複製制作および図録作成</li> <li>・SU Blue の色見本作成及びアンケート実施・決定</li> <li>・藍の機能性に関する動物実験結果をプレス発表</li> <li>・食用藍葉の安全性確認試験実施</li> <li>・藍料理試食会開催</li> <li>・藍葉中の機能性成分分析実施</li> <li>・藍の花から分離した酵母を使った日本酒を共同開発</li> <li>・蓼藍から沈殿藍を製作、沈殿藍を使った書道作品制作、展示</li> <li>・ブランディング事業紹介映像制作</li> <li>・パンフレット第 2 号発行</li> <li>・藍に関する研修会実施（2 回）</li> <li>・図書館に藍コーナー設置</li> </ul>				
④30 年度の自己点検・評価及び外部評価の結果	<p>（自己点検・評価） 実施計画に則り調査・研究が推進できた。さらに蓼藍から沈殿藍を製作し、藍墨を利用した書道作品制作を制作、学外で展示を行った。また、徳島県主催の「藍サミット 2019in とくしま」で学生が藍墨を使った書道パフォーマンスを披露した。</p> <p>（外部評価） 外部評価委員会では、事業は順調に実施され、阿波藍の拠点としてのイメージが定着してきており、県内自治体、高校、企業等とも連携し、地域の活性化にも貢献しているとの評価を得た。事業活動を広報する方法について、SNS 等の活用も検討するのが良いとの意見もいただいた。</p>				
⑤30 年度の補助金の使用状況	古文書のデジタルデータベース化、「阿波藍農工作之風景略図」（絵巻）の複製制作等 食用藍の安全性確認試験、蓼藍葉中の機能性成分分析等 ブランディング事業の広報（パンフレット発行、事業紹介映像制作） 「藍の家」の整備等（甕の設置、資料棚改修）				